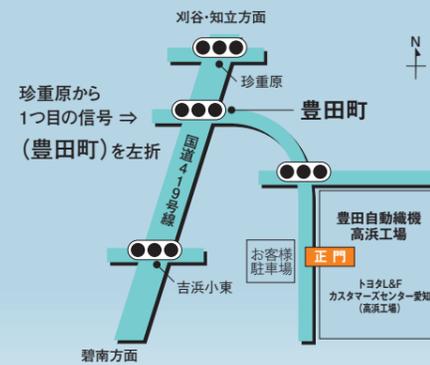


TOYOTA **L&F**



生きたショールーム
高浜工場案内
TAKAHAMA PLANT



- トヨタL&F 高浜工場 愛知県高浜市豊田町2-1-1
- 乗用車 → 国道419号線
 - 東海道新幹線(こだま) → 三河安城駅からタクシーで約20分
 - JR東海、東海道線 → 刈谷駅からタクシーで約30分
 - 名古屋鉄道三河線 → 三河高浜駅からタクシーで約10分

TOYOTA L&F 「Logistics & Forklift」,
トヨタL&Fはあなたの物流ニーズにお応じます。

本カタログ記載の数値は、標準仕様車による当社試験条件のもとでの値です。
また、本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
豊田自動織機 トヨタL&FカンパニーはISO9001, ISO14001の認証を取得しています。

このカタログに関するお問い合わせはお近くの
トヨタL&F取扱い販売店または下記までご連絡ください

お客様相談センター
全国共通・フリーダイヤル ☎ **0120-35-0275**
オープン時間/月曜～金曜(除く祝祭日) 9:00～12:00 13:00～17:00

所在地 / 〒444-1393 愛知県高浜市豊田町2丁目1番地1
株式会社 豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー

トヨタL&Fカンパニー
www.toyota-lf.com

LOGISTICS
&
FORKLIFT

「お客様第一主義」に根ざした
開発と生産。そしてサポート。
お客様の満足のために、
あらゆる物流ニーズに応えます。

豊田自動織機トヨタL&Fカンパニー。

日本国内はもとより世界シェアでもNo.1の実績を誇る、

フォークリフトのトップメーカーです。

自動倉庫・無人搬送車といった物流機器も開発・生産。

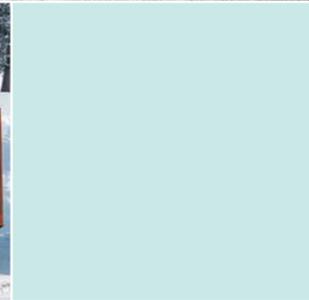
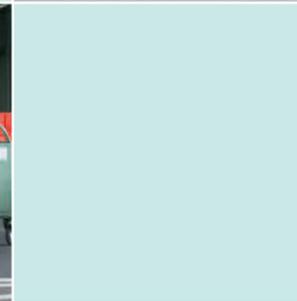
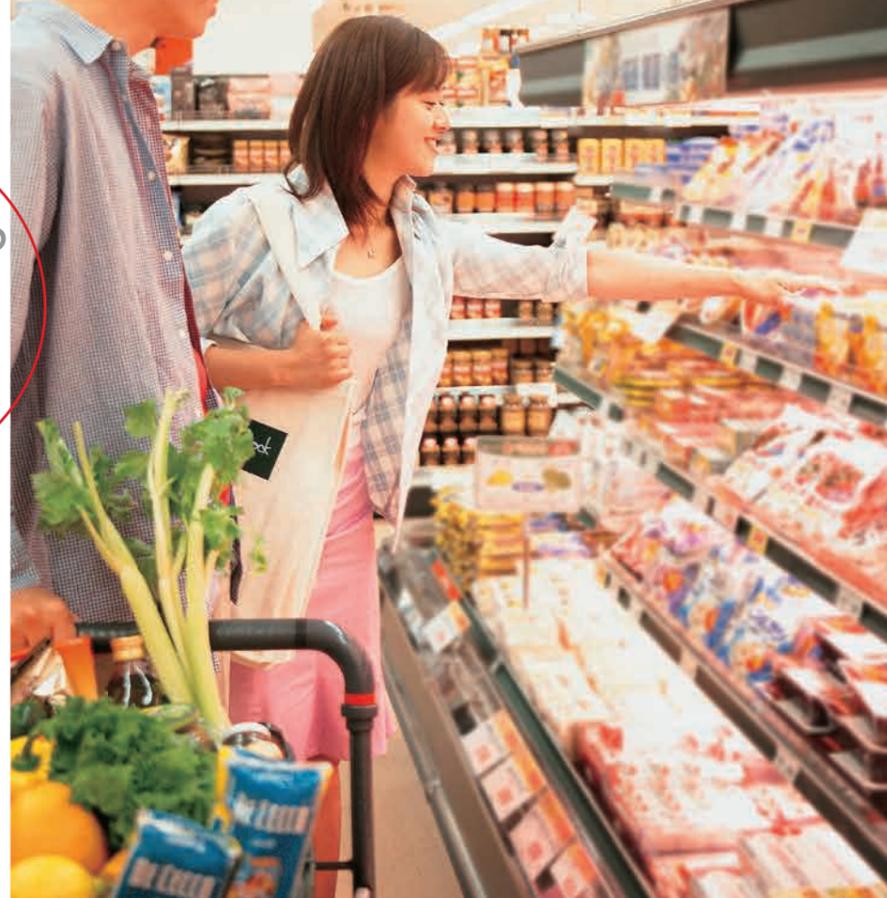
それらを組み合わせ、システムとして

物流ソリューションを提案しています。

お客様の視点に立った製品づくりと充実したサポートを基礎とし、

お客様のパートナーとして、

多様化する物流改善ニーズに応えます。



TOYOTA L&F

高浜工場は、トヨタL&Fカンパニーの中核拠点。 世界の物流ソリューションは、ここから生まれます。

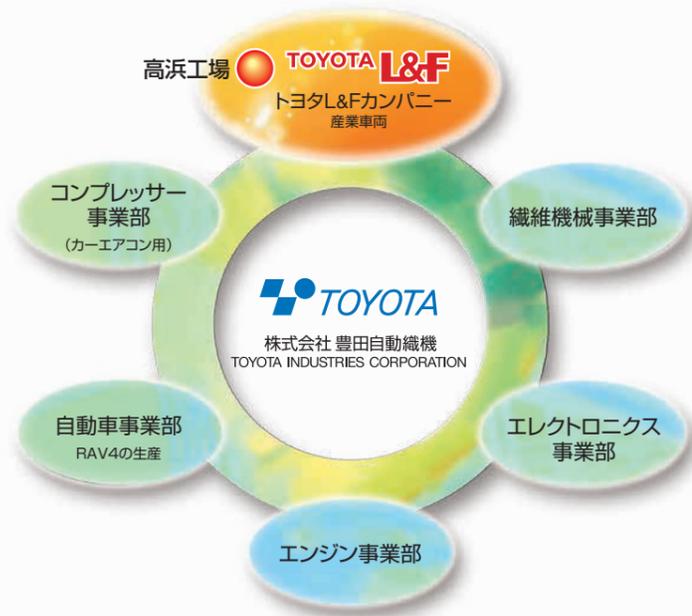
トヨタL&F製品の生産拠点、高浜工場。

敷地面積約338,000㎡(およそ10万坪)、東京ドーム約8個分の広さを持つ、世界最大級の物流機器専門工場です。

工場内で、設計・開発から生産までを行う一貫体制。

さらに完全受注生産によって、お客様のご要望に的確に対応できる体制を整えています。

高浜工場はトヨタL&Fカンパニーの中核拠点であると同時に、世界の物流ソリューション拠点でもあるのです。



グローバルに展開する海外生産拠点

Sweden : Toyota Material Handling Manufacturing Sweden AB



France : Toyota Material Handling Manufacturing France SAS

Italy : Toyota Material Handling Manufacturing Italy S.p.A.



China : Toyota Industry (Kunshan) Co., Ltd. (TIK)

TOYOTA MATERIAL HANDLING GROUP

TOYOTA L&F B.T. RAYMOND



U.S.A : Raymond-Muscatine Inc.

U.S.A : The Raymond Corporation

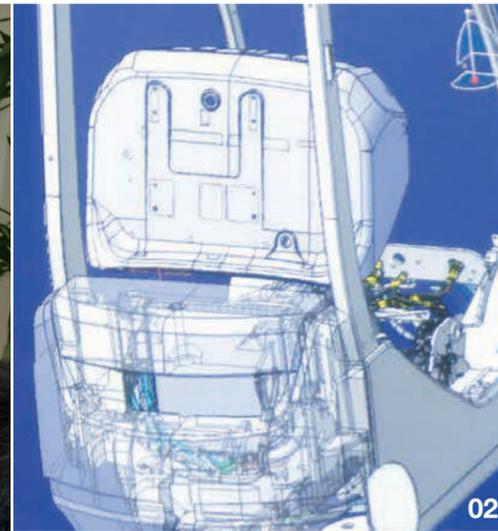
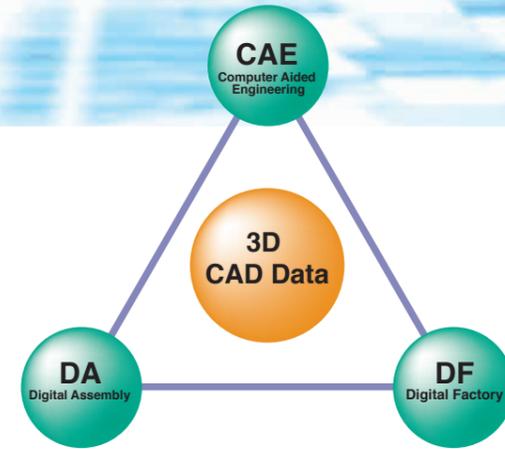
株式会社豊田自動織機 高浜工場

Brazil : Toyota Material Handling Mercosur Indústria e Comércio de Equipamentos Ltda. (TMHM)



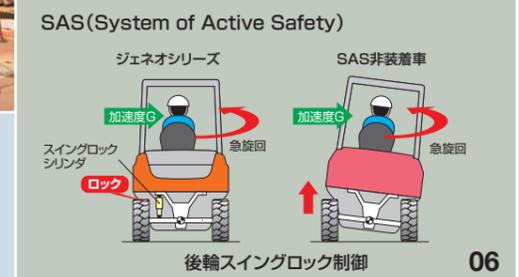
U.S.A : Toyota Industrial Equipment Mfg., Inc. (TIEM)

生産現場とダイレクトにコミュニケーション。
開発の最終目標は、お客様の満足と笑顔です。

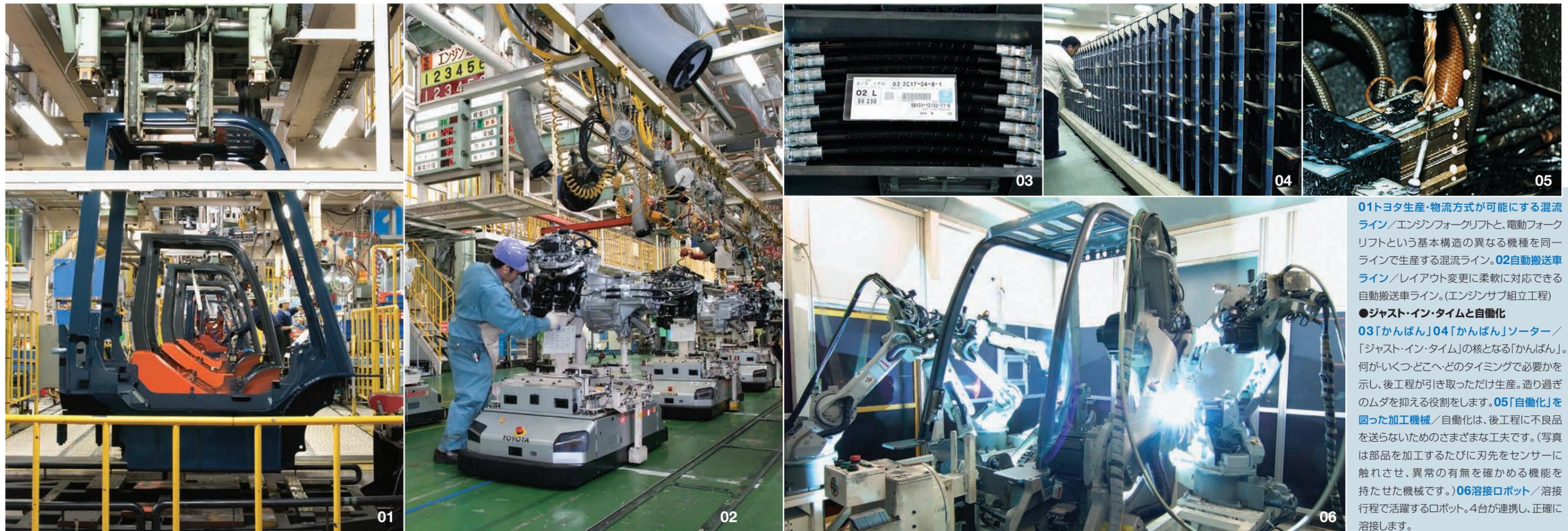


「お客様第一主義」それがトヨタL&Fの製品開発の基本です。性能はもちろん、使いやすさ、効率の良さ、環境への配慮、そして安全。あらゆる面でご満足いただける製品を開発するため、高浜工場では、お客様のニーズをスピーディーかつダイレクトに収集。そのニーズをもとに、多くの開発・技術スタッフが生産現場とタイムリーにコミュニケーションをとり、製品・物流システムを開発しています。

01開発・設計 / 車両・機器はもちろん電子部品や物流システムのオペレーションソフトまで開発・設計しています。**02最新システムを駆使して設計** / 最新CADシステムを利用して、試作機を製作する前に、ボディ剛性や性能をシミュレートします。**03電波暗室** / 電磁波の干渉などによるコンピュータ性能の異常確認を行います。**04無響室** / 騒音やノイズ発生がないことを確認します。**05低温稼働実験室** / 室内温度を-45℃まで下げることが可能。低温下でも確実に動作できることを確認します。**06SAS(System of Active Safety)** / トヨタL&Fが独自に開発した安全システム。旋回時、高揚高荷役時に優れた安定性を発揮。また荷積の落下、荷崩れ防止に貢献します。



安全第一、品質第一で
 多種多様な製品をタイムリーに生産。
 トヨタ生産・物流方式にもとづき高品質で
 信頼性の高い商品をご提供。



01トヨタ生産・物流方式が可能にする混流ライン/エンジンフォークリフトと、電動フォークリフトという基本構造の異なる機種を同一ラインで生産する混流ライン。02自動搬送車ライン/レイアウト変更に柔軟に対応できる自動搬送車ライン。(エンジンサブ組立工程)
 ●ジャスト・イン・タイムと自動化
 03「かんぱん」04「かんぱん」ソーター/「ジャスト・イン・タイム」の核となる「かんぱん」。何がいくつどこへどのタイミングで必要かを示し、後工程が引き取っただけ生産。造り過ぎのムダを抑える役割をします。05「自動化」を図った加工機械/自動化は、後工程に不良品を送らないためのさまざまな工夫です。(写真は部品を加工するたびに刃先をセンサーに触れさせ、異常の有無を確認する機能を持たせた機械です。)06溶接ロボット/溶接行程で活躍するロボット。4台が連携し、正確に溶接します。

400種以上のバリエーションをもつ産業車両を高品質はもちろんタイムリーにお届けするために、日々現場のカイゼンに取り組んでいます。高浜工場ではトヨタ生産・物流方式にもとづき、ジャストインタイムで部品を供給。プレスから溶接、塗装、組立まで一貫した流れで生産しています。

日々のカイゼン、スキル向上。
現場で働く全員の強い意識が
高品質な製品を生みだします。



01ロボットと人の効率的な関係 / 溶接ロボットに、優秀な技能者の最適な手順をプログラムするティーチング。
02カイゼン / 生産現場では常に、ムダを排除して生産効率を高め、高品質確保につながる「カイゼン」が行われています。(写真は、定例のカイゼンミーティング風景。作業者が自発的に問題点を見つけ、自分たちで対策を導き出すのが基本)
03アンドン / 生産ライン上の表示「アンドン」。異常発生時、担当者が自らランプを点灯させ、ラインを停止させます。
04.05.06優れた技術を伝承 / 工場内の技能者養成・教育施設「道場」。組立・溶接・塗装とあり、体系的な教育により優れた技術を伝承します。(写真04組立道場、05溶接道場、06塗装道場)
07ポカヨケ / 作業ミスを防止する仕組「ポカヨケ」。(写真のリングギア組立工程では締付回数を表示します)
08ムダをなくし、環境を考慮した塗装 / フレームにはファンコート塗装を実施。VOC(有機溶剤)の排出低減をめざし、下塗り塗装なしで防錆力および美観を持たせた塗装工程です。マストには粉体塗装を実施。吹付と同時に残塗料を吸引し、再利用しています。

お客様に満足いただける高品質な製品をつくるために、日々現場のカイゼンに加え、組立道場、溶接道場、塗装道場など、技能の向上や高度な技術を伝承する取り組みを行っています。

培ったノウハウを活かし、
タイムリーに補給部品をお届けする
部品センター。



01

01 部品センター／補給パーツを国内、世界各国のサービス拠点へ確実に発送できる部品センター。部品センターは、トヨタ生産方式にもとづく高効率な物流センターとして最新のトヨタL&F物流機器を導入し、効果を実証するモデルケース的存在です。ユーザーとしての評価を開発にフィードバックする役割を担っています。**02バケット式自動倉庫**／ベアリングやガスケットなどの小物部品を保管。バケット内部を分割し、保管点数を増やす工夫も行っています。**03ピッキング作業**／出入庫頻度の高い小物部品は固定ラックで保管。無線ハンディ端末でリストとの照合を行うシステムを取り入れ迅速かつ確実なピッキングを実現しています。**04アンドン**／部品の入荷から出荷まで全ての作業をトヨタ総合物流管理システムT-WINS LSで管理し、各作業の進捗状況をアンドンで見える化。日々の改善活動を通じ、徹底的にムダ・ムラ・ムリを排除することで効率的な部品物流センターを実現しています。



02



03

2階出荷						16:07	
出庫	検品	出庫	検品	検品完了			
計画	実績	実績	予定	実績			
LE3便	672	672	672	13:30	13:45		
LV2:緊急	495	495	495	15:00	15:06		
LV3:緊急	928	343	0	17:00			
LV4:緊急				17:15			
FS	1794	1452	1452	18:30			
			残業計画	1.5			

04

高浜工場部品センターでは、約7万点におよぶ補給部品を速やかに配送出来るよう、最新鋭の物流システムで管理。世界中のお客様にトヨタL&Fの産業車両を満足してお使いいただくために、販売店と連携し、迅速かつ確実なアフターパーツのサービス体制を整えています。

グローバル環境宣言
「地球環境保護」と「経済発展」の両立に
貢献いたします。

トヨタL&Fでは、法規制の遵守はもちろん、より高い目標を設定して、環境負荷の低減に努めます。環境への対応は、経営の最重要課題のひとつとして捉え、以下の3テーマに取り組んでいます。

地球温暖化の防止

生産活動および製品・サービスのライフサイクル全体でエネルギー消費量や温室効果ガス排出量の削減に努めています。

資源生産性の向上

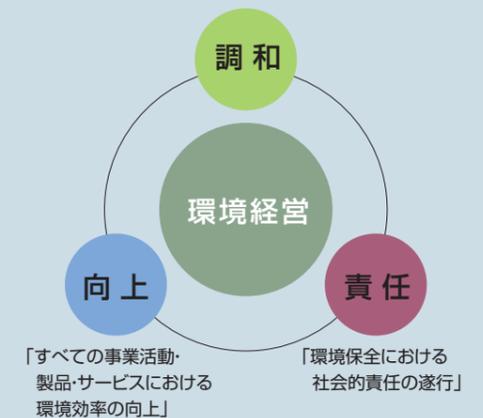
原材料や水など限りある資源を効率よく使用。太陽光発電システムを取り入れ太陽エネルギーも有効活用しています。

環境リスクの低減

環境に大きな影響を及ぼす化学物質の使用、排出を削減するとともに、事業活動の計画段階で環境リスクの評価を実施し、汚染の予防に努めています。

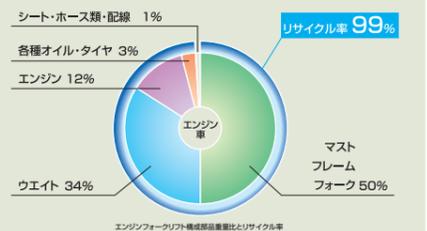
環境活動のビジョン

「環境への取り組みにおける
地域社会・国際社会との調和」



01

■ リサイクルへの取り組み リサイクル性の高いフォークリフト



01 太陽電池パネル／自然エネルギーを活用し、CO₂排出量を削減。**02 新型ジェネオ**／排出ガス中の環境負荷物質を大幅に低減したエンジンフォークリフト。**03 燃料電池フォークリフト**と**リチウムイオン電池フォークリフト**／高い環境性能と経済性の両立を目指し、次世代フォークリフトを開発中。



02



03

1950~60年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代
<p>トヨタL&F事業の歩み</p> <p>●1956(昭和31) 豊田自動織機製作所 フォークリフト初号車LA型(1トン車)を発売</p> <p>●1958(昭和33) タイ王国へ輸出第1号機を出荷</p> <p>●1963(昭和38) 国内仕様準じた5LR型を発売</p> <p>●1966(昭和41) フォークリフト国内シェアNo.1達成</p>	<p>高浜工場の歩み</p> <p>●1970(昭和45) 高浜工場完成、操業開始</p> <p>●1971(昭和46) かんぱん方式による部品調達を開始</p> <p>●1972(昭和47) ヘッドガードとフレームを一体化した60L型を発売</p> <p>●1978(昭和53) 運転者の疲労軽減を重視したX200シリーズを発売</p> <p>●1986(昭和61) 性能、安全性、快適性を向上したX300シリーズを発売</p>	<p>●1975(昭和50) トヨタ産業車両、国内生産累計20万台を突破</p> <p>●1975(昭和50) 国内生産累計20万台を突破</p> <p>●1986(昭和61) 無人搬送システムの一般市場への発売を開始</p> <p>●1986(昭和61) デミング賞 実施賞受賞</p> <p>●1986(昭和61) 性能、安全性、快適性を向上したX300シリーズを発売</p>	<p>●1988(昭和63) 米国インディアナ州にトヨタ インダストリアル イクイップメントマニュファクチャリング(株)設立</p> <p>●1994(平成6) 中国江蘇省昆山市に豊田工業昆山有限公司設立</p> <p>●1994(平成6) ISO9001認証取得(産業車両部門)</p> <p>●1998(平成10) ブランド名をトヨタフォークリフトからトヨタL&Fへ</p> <p>●1998(平成10) エンジンフォークリフト「GENEO」を発売、新安全システム「SAS」を導入</p> <p>●1999(平成11) ISO14001認証取得</p> <p>●2001(平成13) リーチタイプAC制御電動フォークリフト「GENEO-R」を発売</p> <p>●2003(平成15) カウンタータイプセンターステア式コンパクト電動フォークリフト「GENEO-E」を発売</p> <p>●2006(平成18) 「GENEO」をモデルチェンジ</p> <p>●2008(平成20) 「GENEO-B」をマイナーチェンジ</p> <p>●2012(平成24) 「ハイビックリフト」を発売</p>	<p>●2001(平成13) トヨタ自動車(株)よりL&F事業部門の営業譲渡、トヨタL&Fカンパニー設立、製販一貫体制へ</p> <p>●2001(平成13) リーチタイプAC制御電動フォークリフト「GENEO-R」を発売</p> <p>●2006(平成18) フォークリフト発売 50周年、物流システム発売 20周年</p> <p>●2008(平成20) フォークリフト国内生産累計200万台を突破</p> <p>●2012(平成24) 「ハイビックリフト」を発売</p> <p>●2014(平成26) フォークリフト国内生産累計250万台を突破</p> <p>●2016(平成28) フォークリフト国内シェア40%超を18年連続達成(新記録)</p> <p>●2017(平成29) ISO9001:2015認証取得(トヨタL&Fカンパニー)</p> <p>●2017(平成29) リーチタイプ電動フォークリフト「Rinova」を発売</p> <p>●2015(平成27) カウンタータイプコンパクト電動フォークリフト「Ecore」を発売</p> <p>●2014(平成26) 新型「GENEO」を発売</p> <p>●2016(平成28) 新型電動フォークリフト「Gene B」を発売</p>
<p>●56 日本、国際連合に加盟</p> <p>●60 日米安保条約調印</p> <p>●64 東京オリンピック開催</p> <p>●65 いざなぎ景気</p> <p>●67 産業車両に関するJIS規格改正 →国際水準のフォークリフト開発へ</p>	<p>●72 沖縄返還</p> <p>●73 第1次オイルショック</p> <p>●78 新東京国際空港(成田空港)開業</p> <p>●79 第2次オイルショック</p>	<p>●85 NTT、JT発足</p> <p>●85 プラザ合意による急激な円高</p> <p>●87 国鉄分割民営化、JRに</p>	<p>●90 東西ドイツ統一</p> <p>●91 湾岸戦争</p> <p>●93 バブル崩壊</p> <p>●95 阪神淡路大震災</p> <p>●98 長野オリンピック開催</p>	<p>●01 アメリカ同時多発テロ</p> <p>●02 日韓共催サッカーW杯</p> <p>●03 イラク戦争</p> <p>●05 愛知万博「愛・地球博」開催</p> <p>●08 リーマンショック</p> <p>●14 消費税8%に</p> <p>●11 東日本大震災</p>



TOYOTA L&F
カスタマーズセンター
 トヨタL&Fカスタマーズセンター 愛知(高浜工場)

効率的な製造・物流現場の見学ツアーを実施

製造と物流、ふたつの現場を同時に見学できるのが、当センター「見学ツアー」の大きな特徴です。トヨタ生産方式に基づき、ムダをなくし、付加価値を高め、効率よく製造・物流を改善するためにはどうしたらいいか。最新の技術・システムを見て、機器に触れて、体感しながら解決策のヒントを見つけていただけます。当日は豊富な知識を持つ専任スタッフがご案内いたしますので、ご質問などがありましたらお気軽に声をおかけください。

製造現場
見学ツアー



物流現場
見学ツアー

解決策のヒントが見つかる各種セミナーを開催

トヨタ生産方式の考え方から、具体的な現場の改善策や安全な職場づくりまで、多角的なテーマで展開しています。定期セミナーのほか、少人数制の個別セミナーにも対応可能です。センター内のパネルや最新機器の展示も参考にトータルに学んでいただけます。

各種
セミナー



各種
パネル展示

■お申し込み

見学ツアーのお申し込みは最寄りのトヨタL&F販売店の営業スタッフにお気軽にお問合せください。予約状況を確認の上、お申し込みをさせていただきます。最寄りのトヨタL&F販売店は下記URL、スマホからは右記QRコードで検索可能です。

トヨタL&F販売店の検索

<http://www.toyota-lf.com/dealers/index.html>

スマホで検索

